



いわて医療通信【腎臓を長持ちさせるには】

1 腎臓という臓器



「腎臓」と聞いて、どのようなことを思い浮かべますか。体のどこにあって、どのような働きをしていて、もし働かなくなったらどうなってしまうのでしょうか。

腎臓は背中に左右に分かれて存在しています。腎臓にはたくさんのさまざまな働きがありますが、一番分かりやすい働きは「尿を作る」ことです。ところで、非常に重要な物事なのかでも、特に重要なものを指す語に「肝心要・肝腎要

(かんじんかなめ)」があります。この言葉からも腎臓の重要性が理解できると思います。因みに「尿を貯めて出す(排尿する)」ところは膀胱と言って、下腹部にあり、腎臓とは違います。尿は大雑把に、体の中

でできた毒素(尿毒素)と不要になった水でできています。腎臓が病気など何らかの原因で働かなくなると、尿が作られなくなってしまう。尿が作られなくなってしまうと体は毒素にまみれ(尿毒症)、必要な水にまみれ(うっ血)、体の環境を保つことがで

きなくなると、人は死んでしまいます。これはとてもゆゆしき問題です。

腎臓は「沈黙の臓器」とも言われます。腎機能(腎臓の働き)が低下しても、症状が現れにくいからです。

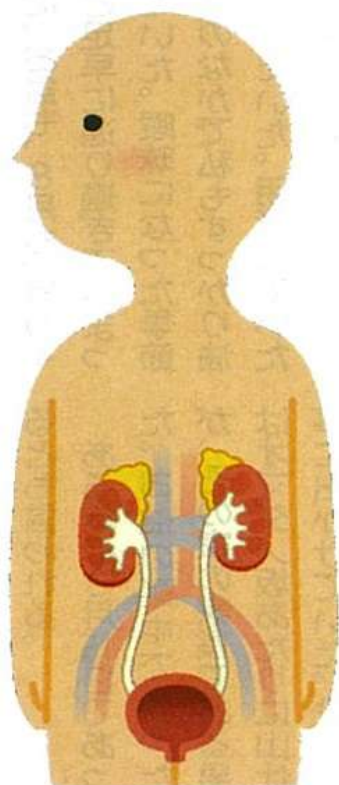
腎機能が低下する原因としては主に、次のことがあげられます。

①糖尿病や高血圧、肥満などの生活習慣病
②腎臓自体の病気(ⅠgA腎症を代表とするさまざまな腎炎・腎症など)
③加齢

①②に関しては、早期発見・早期治療がとても大切です。③は避けられませんが、少しでも長くイキキしていたいものです。因みに、Cockcroft博士とGault博士が1976年に発表した論文によると計算上、人は140歳まで生きると、病気が無くても腎臓の働きが0%になってしまうそうです。

次号から、腎臓の機能や慢性腎臓病について詳しく説明していきます。

岩手医科大学
医学部内科学講座
腎・高血圧内科分野



腎臓が病気など何らかの原因で働かなくなると、尿が作られなくなってしまう。尿が作られなくなってしまうと体は毒素にまみれ(尿毒症)、必要な水にまみれ(うっ血)、体の環境を保つことがで

①②に関しては、早期発見・早期治療がとても大切です。③は避けられませんが、少しでも長くイキキしていたいものです。因みに、Cockcroft博士とGault博士が1976年に発表した論文によると計算上、人は140歳まで生きると、病気が無くても腎臓の働きが0%になってしまうそうです。

次号から、腎臓の機能や慢性腎臓病について詳しく説明していきます。

講師 吉川和寛